


分野	32	人権	<b>通番 64</b>
施策	322	男女共同参画社会の形成	
<b>5年後の目標</b>		すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>男女共同参画啓発</b>		会計	款	項	目	
			一般	2	1	17	2,118,087
一般			2	1	18	897,087	
事業の概要							
男女共同参画社会の形成には、あらゆる世代の市民が、固定的性別役割分担意識や男女の不平等感を払拭し、多様な選択を可能とする学習機会を得、男女平等・男女共同参画の視点と意識を持つことが必要であるため、男女共同参画フォーラムをはじめとする各種啓発事業の充実に取り組みます。							

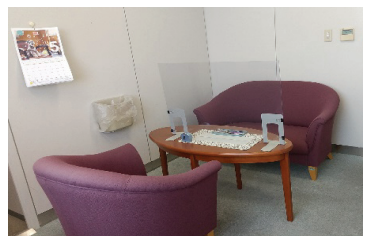
令和2年度の取組								
D (取組)	指標		審議会等における女性委員の登用率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
		目標	39.0	39.0	39.5	39.5	40.0	
		実績	36.6	34.8	37.0	34.2	35.7	
	指標		男女共同参画フォーラムで「男女共同参画意識が深まった」と回答した人の割合				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2	
		目標	70.0	75.0	80.0	80.0	80.0	
		実績	78.4	72.1	84.0	78.2	79.0	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等における女性委員の登用については、長岡京市審議会等への女性委員の登用推進要綱に基づき、事前協議書により確認を行いました。</li> <li>・令和2年12月5日(土) 11:00~15:30長岡京市立中央公民館にて、市民を対象に、性別や障がいの有無に関わらず、すべての人の人権が尊重され、自分らしく生きていくことのできる男女共同参画社会を目指し、内村周子さんの講演会「夢を追い続けて…」を開催しました。1階では、男女共同参画に関する啓発パネル展示をはじめ、新たに男女共同参画フロア活動団体の活動紹介パネル展示を行いました。</li> <li>・暴力根絶と児童虐待防止を目的とした「パープル&amp;オレンジリボンプロジェクト2020」をはじめ、男女共同参画や性の多様性に関する講座の開催、市内高等学校への出前授業などを実施し、ニーズに即した多角的な事業展開を図りました。</li> </ul>							
								「人権・男女共同参画フォーラム」

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド		対応頁
	「地域で」、「社会全般として」男女が平等になっていると考える市民の割合<男女ごと>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度実施の意識調査では、「地域で男女平等」と考える割合は、男性が46.4%・女性が35.3%でした。また、「社会全般で男女平等」と考える割合は、男性が24.1%・女性が11.3%でした。「社会全般で男女平等」と考える男性の割合は増加していますが、女性については、「地域で男女平等」「社会全般で男女平等」いずれの項目も減少となりました。男女平等意識の高まりにより、平等感も減少しているのではないかと推測されます。</li> </ul>		
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等における女性委員の登用率は35.7%でした。目標値40.0%には届きませんでした。女性の参画拡大に向け、事前協議書により担当課へ意識づけを行いました。</li> <li>・「人権・男女共同参画フォーラム」には105人の参加がありました。「男女共同参画意識が深まった」と回答した人の割合は79.0%と目標値に1ポイント届きませんでした。講演内容を「良かった」と回答した割合は82.9%となりました。1階では、パープル&amp;オレンジリボンプロジェクトのメッセージリーの展示や男女共同参画川柳の作品発表、男女共同参画の啓発パネル展を実施し、男女共同参画の意識づくりを行いました。</li> <li>・令和2年度は、令和元年度と同数の合計17事業を実施しましたが、コロナ禍による人数制限等により、参加人数は354人となりました。</li> <li>・市内高等学校へ出前授業を実施し、若年層に対する「デートDV」についての啓発を行いました。また、対面での啓発に加え、ホームページにて「デートDV」について発信を行いました。</li> </ul>	
課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等における女性委員比率が伸び悩んでいます。委員選出をする組織母体に女性の参画が少ないことが課題のひとつです。</li> <li>・対面での講座の参加には限りがあることから、講座の開催方法の検討やホームページ等様々な媒体を使用した啓発を行う必要があります。</li> </ul>			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、幅広い分野への女性の参画拡大に向け、担当課へ働きかけを行います。併せて選出母体である地域団体等への男女共同参画の視点に立った活動のあり方についての意識啓発を行い、性別に関わらず、様々な分野に男女が共に参画することのできる意識づくりを進めます。</li> <li>・啓発手法として、対面講座以外に、オンライン開催の検討を進め、ホームページ等の充実を図ります。</li> </ul>

分野	32	人権	<b>通番 65</b>
施策	322	男女共同参画社会の形成	
<b>5年後の目標</b>		すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>女性相談・男性相談</b>		会計	款	項	目	1,503,168	男女共同参画センター
			一般	2	1	18		
事業の概要								
女性が様々な問題や悩みを安心して相談できる体制を整備します。また、DV被害者等へのワンストップ支援体制の充実を図るため、DV相談機能の強化を検討します。また、男性支援の一つとして男性電話相談を実施します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標(～H29年度)	女性相談のうち専門相談の実相談件数と相談実施率(実相談件数÷相談開設枠数)				単位	件・%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	181件 71.0% (平成26年度)	目標	117件 71.0%	120件 73.0%			
		実績	116件 70.3%	105件 61.4%			
	指標(H30年度～)	相談件数合計とDV等相談件数				単位	件・件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	673件 243件 (平成28年度)	目標			800件 250件	800件 250件	800件 250件
		実績			519件 145件	619件 74件	678件 96件
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の相談室として、常設の一般相談「面接相談」「電話相談」「DV電話相談」、専門相談「女性のカウンセリングルーム」「女性の法律相談」を運営しました。DVや離婚問題等様々な問題や悩みの相談に応じるとともに、就業や起業の相談、分野横断的な情報提供を行いました。また、男性支援として「男性電話相談」を引き続き設置しました。</li> <li>・危険性・緊急性の高いケースについては、長岡京市DV対策ネットワークにおける関係機関と連携し支援を行いました。</li> <li>・DV等の相談へ適切に対応するため、ケース事例を課内で検討するなど相談体制の充実に努めました。</li> <li>・市広報紙やホームページ、公共施設でチラシやリーフレットの配架を行い、相談事業の周知を図りました。</li> </ul>						
							相談室

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の相談室の相談件数は、一般相談である「面接相談」「電話相談」「DV電話相談」が583件、専門相談である「女性のカウンセリングルーム」が74件、「女性の法律相談」が21件の合計678件でした。令和元年度(合計619件)と比較し、一般相談の面接相談は減少し、電話相談が増加しました。</li> <li>・相談事業におけるDV相談件数は、令和元年度65件から令和2年度は88件に増加していますが、相談実人数は、令和元年度令和2年度共に30人と同数であり、実相談者数に変化はありません。</li> <li>・「男性電話相談」は15件でした。相談内容は①夫婦関係 ②親子・家庭 ③生き方・こころ ④人間関係と多方面にわたる相談がありました。</li> </ul>
課題等	・個別事案に適切に対応するため、関係機関の連携のもと相談体制を更に強化していくことが必要です。			

次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1: 計画通りに進めることが適当</td> <td>・DV相談対応体制の強化に向け、引き続き、職員の相談対応スキルの向上と、「女性の相談室」及び「DV相談専用電話」等、相談窓口の更なる周知を図ります。</td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1: 計画通りに進めることが適当	・DV相談対応体制の強化に向け、引き続き、職員の相談対応スキルの向上と、「女性の相談室」及び「DV相談専用電話」等、相談窓口の更なる周知を図ります。
方向性	対応策等				
1: 計画通りに進めることが適当	・DV相談対応体制の強化に向け、引き続き、職員の相談対応スキルの向上と、「女性の相談室」及び「DV相談専用電話」等、相談窓口の更なる周知を図ります。				